

特殊鋼倶楽部 カーボンニュートラルWG 第Ⅱ期活動について

2024年5月20日

カーボンニュートラルWG

WGメンバー（敬称略）

大同特殊鋼(株)

市原

愛知製鋼(株)

坂本, 乗木

山陽特殊製鋼(株)

江良

(株)メタルワン

齋藤

【内容】

1. 23年度活動実績（2023年6月～2024年5月）
2. 24年度活動計画（2024年6月～）

1. 23年度活動実績

【活動実績】

	23/6	7	8	9	10	11	12	24/1	2	3	4	5
WG会合 (1回/月 WEB)	第1回 (6/26)		2 (8/23)	3 (9/28)	4 (11/1)	5 (11/29)	6 (12/25)	7 (1/24)	8 (2/27)	9 (3/29)	10 (4/22)	11 (5/29)
	●アンケート内容検討 ●結果整理、共有		●活動方針 検討		●講演会検討 構成、内容、講演先、運営、資料作成				●24年度活動 内容検討			
	対面開催						●QA再開					
アンケート	◆7/13~27 アンケート実施				◆11/24 HP掲載		◆12/4 産業新聞掲載					
講演会							◆12/18 来ハ×工業 事前打合せ		◆3/19 講演会開催 来ハ×工業石原様 WGから情報提供			
カーボンニュートラル QA							◆3/26 11件掲載					
理事会 報告							◆10/26 第Ⅱ期活動進捗 活動方針				◆5/20 活動実績 今後計画	

1. 23年度活動実績：アンケート(23年10月理事会報告資料 再掲)

【設問内容】

Q1~5 : 第1回アンケートと同質問（必要性、取組有無、取組内容、課題）

Q6~8 : 第I期活動の評価（WG活動の認知、HP閲覧）

Q9~15 : 第II期活動の参考（国の制度・支援策の認知・活用、WGへの期待）

【アンケート回答率】

回答会社：125社中56社（メーカー16社、流通40社）

回答率：45%

参考：第1回（前回：21年8月）アンケートの回答率

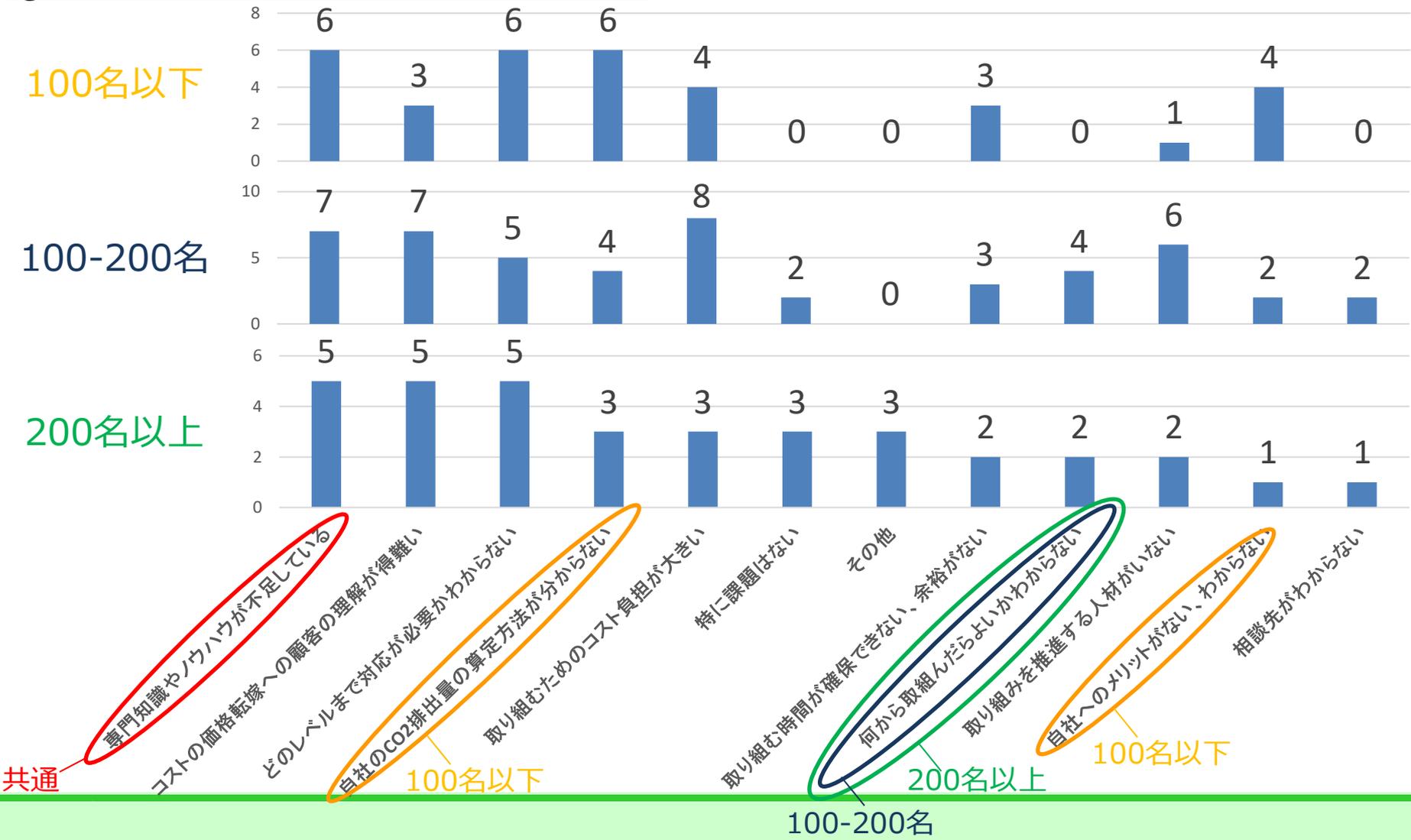
回答会社：128社中60社（メーカー15社、流通45社）

回答率：47%

1. 23年度活動実績：アンケート(23年10月理事会報告資料 再掲)

- 流通会員では、会社規模に応じて抱えている課題が異なる
- 何から取組んだらよいか分からない、メリットを感じていない など、CNへの入り口にも課題あり

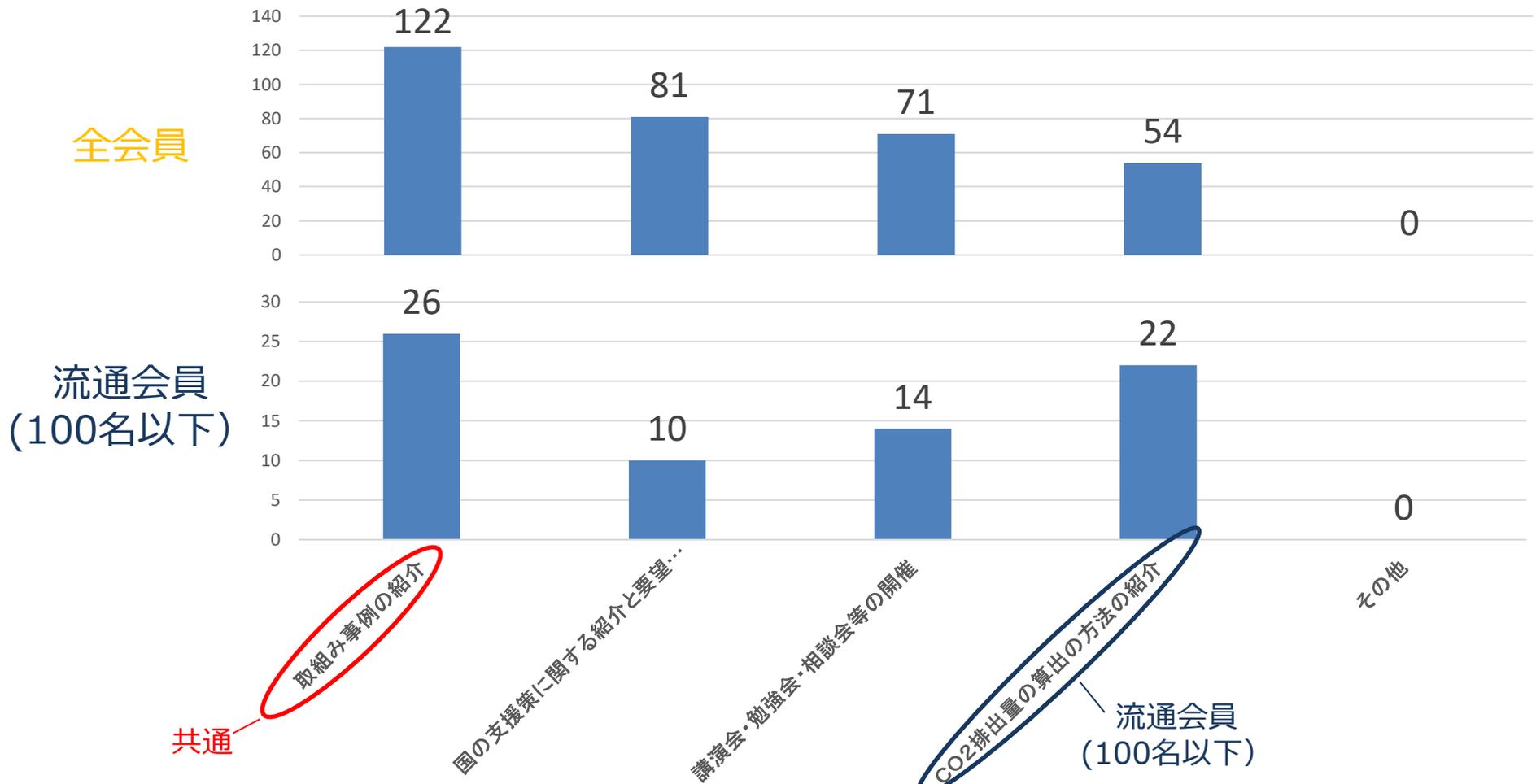
Q4：取組課題（流通会員：従業員数別）



1. 23年度活動実績：アンケート(23年10月理事会報告資料 再掲)

- 取組み事例の紹介への期待が高い
- 流通会員では、自社のCO₂排出量算出の紹介に期待されている企業の割合が高い

Q14：WGへの期待



共通

流通会員 (100名以下)

集計方法：期待度の合計 1位:3点 2位:2点 3位:1点

1. 23年度活動実績：方針策定(23年10月理事会報告資料 再掲)

■第Ⅱ期活動はカーボンニュートラルへの取組を中小規模流通会員へ広げるべく4つの方針を進める

①勉強会の開催 ②講演会の開催 ③情報発信 ④取組事例紹介

【①勉強会の開催】 主なターゲットは中小規模流通会員

内容：CNに取組む必要性、CO₂排出量算定方法、取組み方法(事例の紹介など)

開催方法：鉄鋼会館・対面＋WEB併用

資料、講師：WGメンバーで対応

【②講演会の開催】 主なターゲットは中小規模流通会員

内容：(会員外の)中小規模事業者の取組み事例紹介

開催方法：鉄鋼会館・対面＋WEB併用

講演先：環境省発行の「中小規模事業者向けの脱炭素経営導入 事例集」に記載ある企業からWGメンバーで選定し講演を依頼

【③情報発信】 全会員企業向け

内容：タイムリーな情報・話題をQ&A方式で発信

発信方法：カーボンニュートラルWGサイトに「最近のTOPICS (仮)」コーナーを設置
一定期間経過後、カーボンニュートラルQ&Aコーナーへ

【④取組事例紹介】 全会員企業向け

内容：カーボンニュートラルWGサイト「各社のカーボンニュートラルへの取り組み」の継続
各社ホームページ等の開示情報に加え、社内報などの情報も追加を検討

1. 23年度活動実績：講演会開催（活動方針①+②）

■第Ⅱ期活動はカーボンニュートラルへの取組を中小規模流通会員へ広げるべく4つの方針で進める

①勉強会の開催 ②講演会の開催 ③情報発信 ④取組事例紹介

—【①勉強会の開催】 主なターゲットは中小規模流通会員 —

内 容 : CNに取組む必要性、CO₂排出量算定方法、取組み方法(事例の紹介など)

開催方法 : 鉄鋼会館・対面 + WEB併用

資料、講師 : WGメンバーで対応

—【②講演会の開催】 主なターゲットは中小規模流通会員 —

内 容 : (会員外の)中小規模事業者の取組み事例紹介

開催方法 : 鉄鋼会館・対面 + WEB併用

講演先 : 環境省発行の「中小規模事業者向けの脱炭素経営導入 事例集」に記載ある
企業からWGメンバーで選定し講演を依頼

→①と②を合わせた講演会を企画し、24年3月19日に開催

1. 23年度活動実績：講演会開催（活動方針①+②）

- WGからの情報提供: WG活動紹介とカーボンニュートラルに向けた取組み(30分)
- 会員外の中小規模企業 来ハトメ工業様より、取組み事例のご講演(60分)

【講演会内容】 24年3月19日 15:00~16:30 鉄鋼会館対面+WEB

タイトル：流通会員様向け カーボンニュートラルに向けた取組み

1. カーボンニュートラルWG(CN WG)の活動紹介

2. カーボンニュートラル(CN)に向けた取組み

(1)必要性、メリット、課題

(2)進め方

(3)CO₂排出量の計算方法

(4)補助金・支援策の紹介

(5)取組み事例の紹介

WGメンバーにてアンケート結果も踏まえて構成検討、資料作成、当日説明(30分)
→全67スライド、今後の活動時に参考にできるように、できるだけ多くの情報を提供
(当日の説明は駆け足)

3. 取組み事例のご講演

来ハトメ工業株式会社様

タイトル：秘伝！CO₂99%削減の術 ～知識ゼロから脱炭素化への挑戦の全記録～

1. 23年度活動実績：講演会開催（活動方針①+②）

- 環境省「中小規模事業者向けの脱炭素経営導入 事例集」から講演先検討(28社)
- 2社へ打診した結果、来ハトメ工業様快諾→事前にWGメンバーで講演内容確認

【講演先候補一覧】

	社名	業種	所在地	規模	河瀬	長谷川	市原	坂本	打診結果	メンバーコメント
1	スタンダード運輸	輸送、倉庫、リサイクル	神奈川県海老名市	86名	◎	○	◎	◎	反応なし	健康経営優良法人。トラックの軽油使用によるCO2排出量削減と2024年問題は大きな課題。荷主・協業他社との取組。LED化実施、エコドライブ、EVトラックの検討。民間企業の温室効果ガス排出量算定システムを使用。会員企業の自社トラック保有率次第で参考度合いが変わるものの、参考になると思います。(HP情報) 環境省主催の「中小企業の温室効果ガス削減目標に向けた脱炭素経営促進モデル事業」の合同発表会に参加しており、その資料がそのまま使えるので受け入れやすいのでは？
1	来ハトメ工業	アルミプレス加工	埼玉県八潮市	37名	◎	◎	◎	○	3/19講演	ハイレベルな講演会やセミナーに参加(エコアクション21など) 環境コミュニケーション大賞。★講演会登壇経験あり。重油ボイラをオイルへ返還、再エネ。環境管理責任者が社長や社員を動かす。脱炭素チャレンジカップ2023でグランプリ。
2	NTC	情報サービス	東京都豊島区	160名	○	◎	○	◎		99%Scope2。事務所の省エネについて、排出量計算方法など説明。会員企業の業態を問わず、参考にしやすいと思いました。事務所の削減事例が複数紹介あり、参考になるかも。
3	新東	高圧ガスの販売	愛知県岡崎市	58名	◎	○	○	○		流通問屋さんの立場に近いと思われる。必要性の認識から「何をやっていいかわからない」から開始。会員企業の自社トラック保有率次第で参考度合いが変わるものの、参考になると思います。商工会議所に相談からスタート
4	大川印刷	印刷事業	神奈川県横浜市	40名		○	◎	○		Scope1,2のゼロ達成。2030年にScope3含めたゼロ化を目指す。省エネではLED UV印刷機への切替など対応、太陽光発電設備と風力発電を利用して再エネ化100%を実現。先進的な取組としてメディアに取り上げられ、見学者増、問い合わせ・注文増従業員がセミナー講師、情報発信。脱炭素経営が従業員に根付いている
5	八州建設(やしまけんせつ)	建設	愛知県半田市	68名	○	○	○	○		99%Scope1。中小企業SBT取得済、本社のZEB(ネットゼロエネルギー)化を目指す 脱炭素社会において自社事業環境変化をチャンスと捉え、バリューチェーン全体でのCN化を目指す といった取組方は参考になるかも。(HP情報) 規模の割にはガバナンス体制、組織体が充実。小規模流通にとって、これが参考になるか、逆に無理だとなるかは分からない。
6	山形精密 casting	鋳造部品製造	山形県長井市	180名		◎	○	○		省エネ無料診断を受診。インバータ付きコンプレッサー、高効率貫流ボイラー、LED照明などを国の補助金を活用して導入。省エネ診断は役に立たないだろうと思っていたが、実際に削減できたということなので、省エネ診断を活用する動機、きっかけになれば
7	協発工業	金属プレス加工	愛知県岡崎市	34名	○	△	○	○		プレス業界だが、太陽光に関する情報や各投資の規模やCO2削減計画などあり。金属加工業という点で。(HP情報) 今年の7月に、中部経済産業局ホームページでの事例紹介サイト「中部発！カーボンニュートラル取組事例」に「2050年カーボンニュートラル(CN)に向けて、先行的に取組を行う企業」として掲載されました。「脱炭素経営の先取りで選ばれる企業に」という内容で紹介されています。社風の醸成。今年の7月に代表取締役が、岐阜県温室効果ガス排出削減実務セミナー、中小企業診断士経営改革シンポジウムにおいて講演。環境省WEBサイト「ひろがるカーボンニュートラル」内にて、カーボンニュートラルに向けたメッセージ掲載
8	加山興業	廃棄物処理	愛知県豊川市	131名	◎			○		今後の廃プラ焼却需要の増加への対応と燃料転換が課題。灯油→都市ガス、軽油→GTL(液化ガス)へ転換済。太陽光発電済み。Scope2はゼロ。RPF(固形燃料)製造で廃プラ1kg当たり2.797kg→0.013kg
9	宮城衛生環境公社	廃棄物回収	宮城県仙台市	169名	◎		△	○		車両のCO2削減が課題。Scope2は32%を太陽光、68%をクレジットで対応予定。PHEV導入、外灯LEDで▼70%、アルミ二重窓で▼7%。バイオディーゼルの検討。SBT認定申請予定。車両からの削減が中心という観点では良い？

秘伝！CO₂99%削減の術

～知識ゼロから脱炭素化への挑戦の全記録～

2024年3月19日

来ハトメ工業株式会社 環境管理責任者

エコアクション21審査員、サポーター

脱炭素チャレンジカップ2024アンバサダー

石原 隆雅

本日のメニュー

- ▶ 1. 来ハトメ工業株式会社とは？
- ▶ 2. 当社の環境活動とその実績
- ▶ 3. 秘伝！CO₂99%削減の術
- ▶ 4. まとめ

参考：来ハトメ工業様 講演内容

1. 来ハトメ工業(株)とは？



所在地：埼玉県八潮市

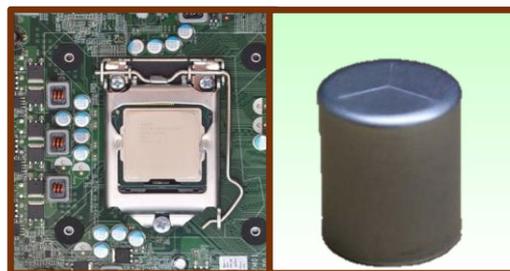
創業：1946(昭和21)年3月

従業員数：36名

資本金：3,000万円

2022年度売上高：775百万円

当社の主力製品



アルミ電解コンデンサ用ケース
(売上比率**98%**(主に車載用))

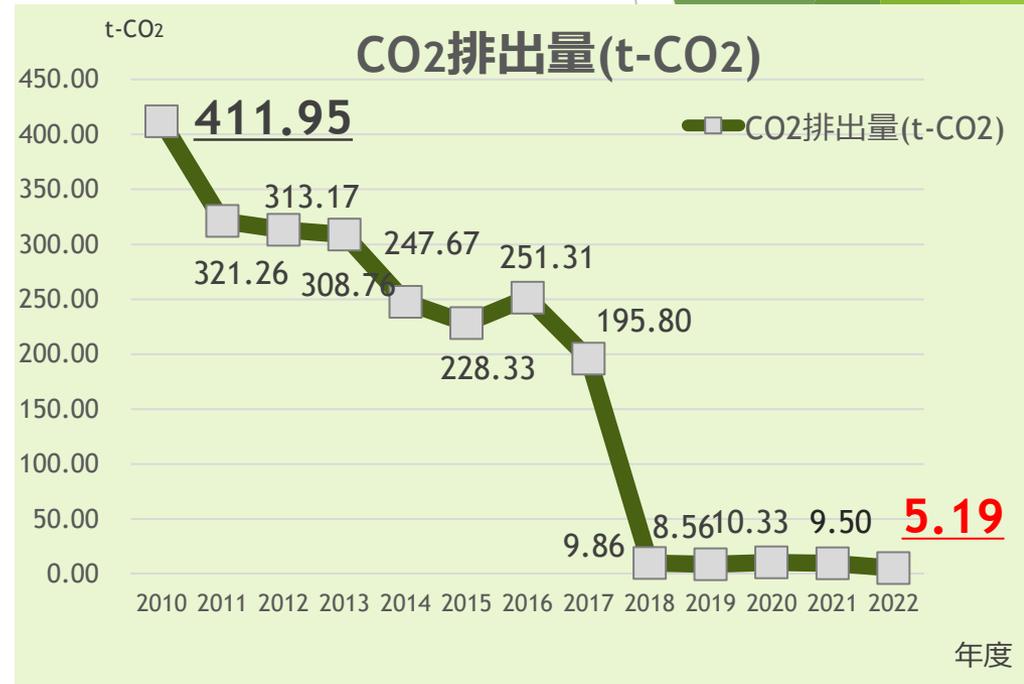
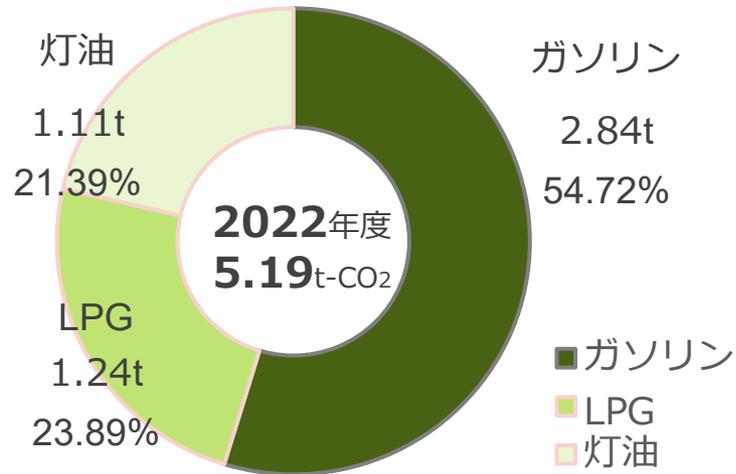


リベット、香水瓶のボタン
(売上比率**2%**)

2. 当社の環境活動とその実績

環境活動の実績

▶ CO₂排出量



2. 当社の環境活動とその実績

環境活動の実績

▶ 受賞歴



- ▶ 環境コミュニケーション大賞(3度の環境大臣賞を含む8回受賞)
- ▶ 環境・人づくり企業大賞(2014環境大臣賞、2015優秀賞)
- ▶ 彩の国埼玉環境大賞(第17回(2015年)優秀賞)
- ▶ エコアクション21オブザイヤー2021(ソーシャル部門銅賞)
- ▶ 脱炭素チャレンジカップ2023(環境大臣賞グランプリ)



2. 当社の環境活動とその実績

環境活動の実績

▶ メディア掲載

年・月	掲載誌名	発行者
2013年06月	平成25年版環境白書	環境省
2014年10月	日経エコロジー	日経BP社
2015年12月	中小企業が環境をダシに儲ける本	日経BP社
2019年01月	隔月刊 地球温暖化	日報ビジネス(株)
2019年03月	環境会議 2019春	事業構想大学院大学
2020年02月	環境経営者 2020年2月号	株式会社TKC
2024年02月	日経ESG 3月号	日経BP社



4.まとめ

①まずは「見える化」から？

グラフなどで自社のCO2排出状況を可視化して取組む場所を明確にしてみては？

②機器更新こそ最強の削減策

機器更新時が最大のチャンス、特に化石燃料から電気に置き換えられる機器が狙い目

➡**現有設備の使用エネルギーに関心を持つことが大切。**

③「背伸び」が重要

正しい知識習得にはハイレベルなセミナー等から得られる学びが重要

➡**「中小企業だから……」とか関係ない!!**

④熱意と社内教育が全て

脱炭素化に逆行する流れがあっても負けない熱意と社内の理解者を増やすための教育は必須。

➡**責任者の腕の見せ所！頑張りましょう!!**

1. 23年度活動実績：講演会開催（活動方針①+②）

- 中小規模流通会員の参加は8社10名(実参加4社4名)と低位も、参加者は役立つとの評価
- WG活動への参加は、特殊鋼倶楽部の他の講演会、説明会等と比較し低位

		中小流通(全73社)		大手流通(全27社)		メーカー(全25社)	
		参加企業数	参加人数	参加企業数	参加人数	参加企業数	参加人数
CN-WG活動	今回講演会(24/3)	8社(4社)	10名(4名)	8社(4社)	15名(6名)	2社(2名)	4名(名)
	第1回講演会※ ¹ (21/11)	4社	19名	10社	72名	5社	30名
	第1回アンケート(21/8)	28社	—	15社	—	12社	—
	第2回アンケート(23/7)	28社	内10社は以下の3つの会のいずれかに参加	12社	—	12社	—
	いずれの企画にも参加なし	34社		4社	—	3社	—
倶楽部全般	教養講座 新入社員限定(24/4)	17社	37名	7社	10名	2社	6名
	四半期需要見通説明 (24/4)	25社	36名	11社	19名	8社	8名
	市場開拓調査委員会講演会※ ² (23/12)	12社	26名	13社	47名	6社	15名

- 【備考】 ① 中小規模流通は200名以下と定義 ② 回答企業数、参加人数からWG参加企業は除く
③ 今回講演会の括弧内は参加者数、他は申込者数

【講演会】

※1: CN-WG 第1回：「グリーン成長戦略」と鉄鋼分野における脱炭素化の取組み」 経産省金属技術室

※2: 市場開拓調査委員会「中国・EVブランドの“クルマづくり”と“売りづくり”の最新動向」 現代文化研究所

2. 24年度活動計画

- WG活動への参加が低位な理由を検討し、24年度の活動計画を策定
- 講演会の動画配信(3回)→参加動向把握、WG活動に参加実績無い会員へ個別アプローチ

★WG活動のミッション

会員各社がカーボンニュートラルを考えていくうえでの必要な情報発信

【今後の取組】

①3月19日講演会の動画配信(3回)→参加動向把握

6月7日(金) 10:30~12:00	} 曜日、時間帯を考慮し設定
6月13日(木)13:30~15:00	
6月19日(水)13:30~15:00	

②WG活動に参加実績のない41社へ個別にアプローチ
アプローチ方法は次回WG会合(5/29)で議論

【参加率低位の想定：メンバー意見】

- ・CNに対する会員の認知が一定程度広まり、各社で取組が進んできたため講演会への関心が薄れてきた
- ・必要な情報が色々なソースから得られ、会員各社が取組むアイテムが具体的になり、実行段階に移ってきた
- ・CNへの認知・意識・取組は中小流通会員を中心にあまり変化が無く、関心が低い、優先順位が低い
- ・会員各社の方針やリソースなどの差のため、必要な情報収集に差が生じ、積極的に取り組んでいる会社とそうでない会社との差が広がってきた

以上